

# 産禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所  
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談  
 診 察 日：月曜・木曜・金曜  
 受付時間：9:00~12:00  
 〒502-0017 岐阜市長良雄雄878-16  
 IP Tel:058-295-9545  
 FAX:058-296-3903  
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp  
 http://zazendoh.town-web.net/

第132号 2015.3.1.  
 毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介

## 知り、知らせる

松井英介



知り、知らせることの大切さを、考えさせられる毎日ですが、お元気ですか。

沖縄辺野古の海を守るために懸命に生きる人びとを描いたドキュメンタリー映画「圧殺の海」の映画館上映が、大阪、東京につづいて名古屋でも始まりました（シネマテーク、午前11時～）。補助椅子を出し、壁際には立ち見、それでも入れず入場を断られる人、ひと・・・。初日2月28日には共同監督のひとり藤本幸久さんが、挨拶。もうひとりの影山あさ子監督は辺野古に留まって海と陸の両方から取材中。作品には観る者を惹きつけて離さない強い力があり、藤本監督の話も忘れられないものでした。両監督とスタッフは、大手メディアがほとんど報道しない沖縄の現状を、本土の市民に知らせるためにこの作品を作ったのです。

2014年7月1日安倍内閣が集団的自衛権を閣議決定したその日に着工した辺野古の米軍新基地。絶滅危惧種ジュゴンが餌場になっているサンゴの海。豊かな生き物に恵まれた世界的にも類まれな生態系を壊し、巨大なコンクリート滑走路を造る。米日政府の破壊行為を止めさせよう立ち上がった沖縄の人びとを、暴力的に排除する防衛局と海上保安庁の屈強な隊員たち。取材記者を狙ってカメラを奪う。報道させないようにする。安倍首相は、なぜこんなにも強引にことを進めるのか。その背景には2005年に始まった在日米軍再編がある。2001年の9.11事件の後米軍が仕かけたアフガニスタンとイラクへの戦争。数千人の米兵の死。米国内の反戦の動き。米兵に代えて日本の若者をアジア人と戦わせる。「日米軍の軍事目的のため、自治も土地も生活も平和も強制収容」、まるで植民地政策<sup>1)</sup>。

「被ばくしたのは第五福竜丸だけではなかった・・・ 半世紀前に葬られたビキニ水爆実験の真相に迫った 話題のドキュメンタリー映画、ついに書籍化!!」。考えてみれば、ちよつと可笑しいキャッチコピーを帯につけた本が出ました。南海放送の気骨のディレクター伊東英朗さんの「放射線を浴びたX年後」です。2012年9月15日東京の映画館ポレポレ東中野で封切られた同じタイトルのドキュメンタリー映像。それを観たときの興奮を私はよく覚えています。この本によれば、同時に松山市のシネマナティックでも上映されたのだそうです<sup>2)</sup> P.210。この作品も小中高生に観てもらいたい、またこの本は、映画を観るようにスラスラと読めるので、ぜひ手にとってほしいのです

「圧殺の海」は、全国各地で自主的な上映会が進められていますが、岐阜でもやろうとの声があがっています。

1) 石田明義「世界をにらむ在日米軍再編成と自衛隊、Marines Go Home、P.20'20」(2006) 株式会社アイワード

2) 伊東英朗「放射線を浴びたX年後」(2014) 講談社